

宇部・山陽小野田消防組合議会 平成30年2月定例会報告

◆ 一般質問

1 山田伸幸議員

- 1 同時多発広域災害の対応について
- 2 菊川断層を震源とする直下型地震への対応計画はあるのか。

【答弁】

- 1 管内で大規模災害が発生した場合は、全国からの緊急消防援助隊を受け入れるため、緊急消防援助隊受援計画に基づき、広域的な連携を強化して大規模な災害に備えている。特殊な救助訓練として全国緊急消防援助隊の合同訓練や中・四国ブロックの訓練に参加するなど各県との連携強化を図った訓練を実施するとともに、本消防組合単独での大規模災害時対応訓練を実施している。また、消防訓練研修センターに実践的な訓練ができる環境を整えているところである。
- 2 引き続き菊川断層帯に関する情報に注視するとともに、情報の把握に努め、地震発生の際には消防組合の大規模災害時対応訓練に基づいて、人的被害の軽減に最善を尽くす。

2 志賀光法議員

- 1 救急業務の現状と課題と今後の取組み
- 2 地域救急医療能力の向上への取組みとしての救急業務体制の充実強化、医療機関や市民との連携・協働の推進の状況と課題と今後の取組み

【答弁】

- 1 出場件数及び搬送人員ともに、減少しているが、これは医師会及び構成市などと連携して行った救急車の適正利用など、救急医療緊急アピールの効果が一因と推測している。現場滞在時間については、全国的に長くなる傾向がある。これは、救急救命士が高度な救命処置を現場で行うことや病院の選定に時間を要する等の要因が挙げられる。
- 2 指導救命士を養成するとともに、救急救命士に、高度な救急救命処置等の再教育実習を行わせることによって資質の維持、向上を図り、救急業務体制の充実強化をしていく。また、課題である医療機関の受け入れ体制については、両構成市が中心となって医療機関と連携して住民への救急啓発を実施していく必要がある。

◆ 議案審議

議案第1号 平成30年度宇部・山陽小野田消防組合一般会計予算

【概要】 歳入・歳出予算 31億8,284万3千円
平成29年度比 2億2,958万9千円の増額

【主な質疑】

【質疑】 常備消防費の書籍等購入費が減額されている要因は何か。

【答弁】 全救急救命士が追加講習を完了し、テキスト代が不要になったためである。

【質疑】 新たに計上された自動車免許取得助成金とは何か。

【答弁】 従前は、自動車学校に入校させて大型自動車免許を取得させていたが、より多くの職員に免許取得の機会を与えるため助成金制度としたものである。

【質疑】 高機能消防指令センターの償還はいつまでか。

【答弁】 平成34年度までである。

【質疑】 契約不履行違約金収入とは何か。

【答弁】 消防救急デジタル無線整備事業で契約を交わした沖電気工業株式会社が談合により契約違反となったことに伴う、違約金収入である。

【討論】 なし

【採決】 全員賛成で可決

議案第2号 平成29年度宇部・山陽小野田消防組合一般会計補正予算（第3回）

【概要】 歳入歳出予算総額にそれぞれ2,115万9千円を減額し
歳入歳出予算総額をそれぞれ29億2,552万4千円とするもの

【質疑】 なし

【討論】 なし

【採決】 全員賛成で可決

議案第3号 宇部・山陽小野田消防組合手数料徴収条例中一部改正の件

【概要】 地方公共団体の手数料の標準に関する政令に規定される標準額は、地方分権計画に基づき3年ごとに見直されており、平成29年度が見直し年度に該当するもので人件費単価及び物件費の変動を理由に一部改正されてことを受け、当該条例の所要の整備をおこなうもの

【質疑】 なし

【討論】 なし

【採決】 全員賛成で可決

議案第4号 宇部・山陽小野田消防組合中期実行計画の策定について

【概要】 消防組合の基本計画は、基本構想と実行計画で構成されている。実行計画は前期、中期、後期の3年ごとの計画とされ、平成29年度で前期実行計画が終了することから、中期実行計画を策定するもの

【質疑】 なし

【討論】 なし

【採決】 全員賛成で可決